

## 地域の基幹産業である観光を基軸とした、虻田高校の特色ある教育活動

北海道虻田高等学校は、全校生徒 70 名の西胆振地区唯一の商業の専門高校です。本校では、学校設定科目「地域ビジネス」において、洞爺湖町の観光資源を教材として学び、高校生視点から地域の活性化について提案しており、平成 27 年からは「遊覧船ガイド育成事業」を授業の一環として実施しています。

○ 平成 28 年 9 月 26 日（月）

神奈川県立生田高等学校の 2 年生 270 名を迎え、遊覧船ガイドを行いました。ガイドを担当した 3 年生 8 名は、自作のフリップを使用して、洞爺湖周辺の景観や北海道の方言などをクイズ形式で紹介しました。生田高の生徒からも「同年代で親しみやすく、受け答えしやすい。」と好評でした。



○ 平成 28 年 10 月 25 日（火）

愛知工業大学名電高等学校の修学旅行生 44 名を迎え、遊覧船ガイドを行いました。当日のガイドを担当した 3 年生 29 名は 8 班に分かれ、デッキに出てガイドするなど高校生らしい視点で交流を図りました。ガイドを担当した 3 年生も、「これまで学んできたものを出し切れた。たくさん話せて楽しかった。」と満足した様子でした。



実際にガイドを受けた高校生からのアンケート結果において、約 9 割から「よかった」との回答を得ており、「また洞爺湖に来たい。」との意見も多く寄せられるなど高評価をいただきました。本事業に取り組んだ 3 年生からは「地域のことが詳しく理解できた。」「さらに多くの体験をしたかった。」など意欲的な感想が寄せられ、教室の中だけでは得られない貴重な体験をしました。

（胆振教育局教育支援課高等学校教育指導班 指導主事 佐藤 光 洋）